

B 個別学習（B 1）

主な学習活動

Google ドキュメントを使って正確な発音ができているかを確認する。

1 本時のねらい

身近な人についての情報を、正しい音声で伝えることができる。

2 主に活用したICT機器・コンテンツ等

ファイル共有

授業支援

Google ドキュメント

3 参考にしてほしいポイント

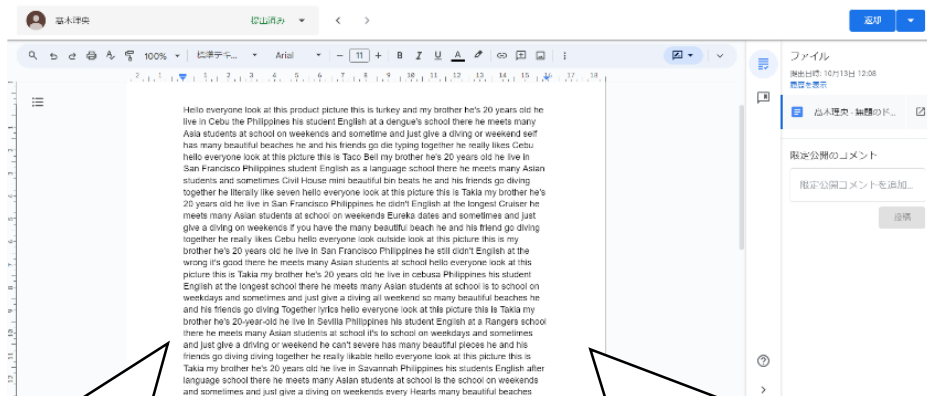
Google ドキュメントの音声入力（US英語）を用いることで、自分の発音を確認することができる。特に欠落しやすい三単現のsの場面で使うことで、sの存在や発音に、より意識を向けることとなり、文脈を通して促すことができる。

段階場面	主な学習活動	ICT機器活用のポイント
展開	教科書本文の音読をする。	Google ドキュメントの音声入力を使うことで、練習の成果を可視化しながら正確に本文を読むことができる。

タブレット

+

ヘッドセット



話したことが英語に
なってる！すごい！

5分間でこんなにたくさん練習できた！

4 活用効果

音声入力をすることによって、生徒は自分の発話の正確さをより意識することができ、正しく発音することにつながることもできた。また、入力過程を残すことで、生徒の努力の過程が可視化でき、技能獲得に向けて努力するという主体的に学習に取り組む態度の評価の参考にすることもできた。

5 アドバイザーからのコメント

Google ドキュメントの音声入力（US英語）を用いて、英語の発音練習をすることは素晴らしいアイデアで驚きました。確かに、発話した内容が英語で表示されるので、正確さと同時に努力の足跡が記録され、学習意欲が高まりますね。
(東京工業大学 赤堀侃司)

音声入力を用いることで発話の正確さを文章化で確認することができ、修正すべき点が可視化されることで正確な発話となることが期待できます。また、練習の成果があわせて可視化できるという点においても、学びに向かう力を生み出す原動力となりそうです。
(福島大学 平中宏典)